



2025年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年12月11日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム 上場取引所 東
コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>
代表者(役職名) 代表取締役会長 (氏名) 澤田秀太
問合せ先責任者(役職名) 上級執行役員経営企画部長 (氏名) 国門量祐 TEL 03-5312-6247
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第1四半期の連結業績(2024年8月1日~2024年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第1四半期	516	△42.3	43	63.3	48	84.0	32	81.9
2024年7月期第1四半期	895	719.0	26	—	26	—	17	—

(注) 包括利益 2025年7月期第1四半期 33百万円(89.0%) 2024年7月期第1四半期 17百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第1四半期	21.69	21.58
2024年7月期第1四半期	12.54	12.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年7月期第1四半期	2,789	1,165	41.5
2024年7月期	2,869	1,151	40.0

(参考) 自己資本 2025年7月期第1四半期 1,158百万円 2024年7月期 1,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年7月期	—	—	—	—	—
2025年7月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2025年7月期期末配当金の内訳 普通配当 15円 創立20周年記念配当 3円

3. 2025年7月期の連結業績予想(2024年8月1日~2025年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	2,500	△20.3	310	17.5	300	7.6
	~3,175	~1.2	~425	~61.1	~415	~48.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年7月期1Q	1,521,700株	2024年7月期	1,521,200株
2025年7月期1Q	13,786株	2024年7月期	13,786株
2025年7月期1Q	1,507,781株	2024年7月期1Q	1,433,741株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、2024年7～9月期の日本のGDPが、消費が2期連続で増加したことなどにより、前期比年率0.9%増とプラス成長を維持し、実質雇用者報酬に持ち直しの動きがみられる中、消費も上向きつつあり、日本経済は緩やかな回復の動きがみられました。

このような状況のもと、当社グループは2025年6月発コスタセレーナ金沢発着チャータークルーズの発表や販促活動、金沢や大阪での営業所の開設準備、フラッシュセールやミステリークルーズ等でお得な商品の販促を行ってきました。9月19日付で発表いたしましたとおり、昨年度に引き続き、当社グループとしては2度目の単独チャーターをコスタセレーナ金沢発着クルーズにて行うことになりました。発表当日より販売を開始しておりますが、リアルな会場を借りての週1回ペースでのセミナー開催や、地元でのテレビCM、新聞広告等により多くの新規顧客を獲得しました。営業所の開設に関しては、当社グループとしては初めての試みとなります。チャータークルーズの販促強化、対面接客を設けることによる新たな顧客層の発掘等を目的に、11月に金沢、12月に大阪にて開設いたしました。また、引き続きお得な商品の仕入れには力を入れており、破格な商品を、フラッシュセールやミステリークルーズというような形で販売し多数のご予約をいただきました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は516,477千円（前年同期比42.3%減）、営業利益は43,452千円（前年同期比63.3%増）、経常利益は48,663千円（前年同期比84.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32,709千円（前年同期比81.9%増）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合がいずれも90%を超えるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて80,184千円減少し、2,789,099千円となりました。これは主に、旅行前払金が88,289千円増加した一方で、現金及び預金が141,814千円、未収入金が26,394千円減少したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて94,490千円減少し、1,623,669千円となりました。これは主に、長期借入金が51,930千円、未払法人税等が25,267千円、未払金が21,053千円減少したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて14,306千円増加し、1,165,429千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が10,098千円増加したことによります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月19日付で発表した2025年6月発コスタセレーナ金沢発着チャータークルーズの催行の決定と足元の販売が好調な状況、及び他船のキャビンの買い取りにおいて、適切なカテゴリー且つ適切な部屋数の買い取りを行うことにより売上総利益率が経常的に向上している状況等を鑑み、連結売上高の下限の引き上げと、連結営業利益、連結経常利益の上限、下限両方の引き上げを行うことといたしました。なお、今後の販売の見通しや外部環境の変化の可能性等の不確定要素を考慮し、引き続きレンジでの開示としております。また、親会社株主に帰属する当期純利益を算出するにあたっては税効果を考慮する必要があり、その計算根拠となる2026年7月期の予算数値を算出することが現時点では困難であるため、親会社株主に帰属する当期純利益の予想数値を算出することができず、引き続き非開示といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,602,898	1,461,084
旅行前払金	430,380	518,669
未収入金	147,795	121,400
その他	111,504	111,584
流動資産合計	2,292,578	2,212,738
固定資産		
有形固定資産	136,056	135,187
無形固定資産		
のれん	32,935	32,015
その他	92,816	93,165
無形固定資産合計	125,751	125,181
投資その他の資産	312,477	312,939
固定資産合計	574,286	573,308
繰延資産	2,418	3,051
資産合計	2,869,283	2,789,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	245,908	234,478
未払金	37,731	16,678
未払法人税等	45,787	20,520
賞与引当金	-	3,237
契約負債	611,812	632,483
その他	22,901	14,171
流動負債合計	964,141	921,569
固定負債		
長期借入金	742,823	690,893
その他	11,194	11,207
固定負債合計	754,018	702,100
負債合計	1,718,160	1,623,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	567,402	567,835
資本剰余金	483,902	484,335
利益剰余金	132,618	142,716
自己株式	△35,280	△35,280
株主資本合計	1,148,642	1,159,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,341	△984
その他の包括利益累計額合計	△1,341	△984
新株予約権	3,822	6,807
純資産合計	1,151,122	1,165,429
負債純資産合計	2,869,283	2,789,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年8月1日 至2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2024年10月31日)
売上高	895,621	516,476
売上原価	763,622	380,350
売上総利益	131,998	136,126
販売費及び一般管理費	105,387	92,673
営業利益	26,611	43,452
営業外収益		
受取利息	678	597
為替差益	1,360	7,213
その他	527	526
営業外収益合計	2,566	8,338
営業外費用		
支払利息	1,994	2,045
新株予約権発行費償却	587	377
その他	146	704
営業外費用合計	2,728	3,126
経常利益	26,448	48,663
税金等調整前四半期純利益	26,448	48,663
法人税等	8,466	15,954
四半期純利益	17,982	32,709
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,982	32,709

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
四半期純利益	17,982	32,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△488	357
その他の包括利益合計	△488	357
四半期包括利益	17,494	33,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,494	33,066
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
税金費用の計算	<p>税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。</p> <p>ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。</p>

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占める「旅行業」の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2024年10月31日)
減価償却費	4,486千円	4,692千円
のれん償却費	920千円	920千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。